

10月

13 火	●保育所子育て電話相談 10:00~16:00 各保育所
14 水	●心配ごと相談 13:00~17:00 ㊟ ●法律相談(要予約) 13:30~16:30 ㊟
15 木	
16 金	
17 土	●司法書士による法律相談 9:30~12:00 ㊟ ●市民対話課 ☎43・6818
18 日	当番医 正木医院 ☎45・3555 9:00~17:00
19 月	
20 火	●保育所子育て電話相談 10:00~16:00 各保育所 ●エイズ・肝炎相談(前日までに要予約) 13:20~ 健康
21 水	●女性問題専門相談(要予約) 13:00~16:00 ㊟ ●市民対話課 ☎43・6818 ●心配ごと相談(弁護士・要予約) 13:00~17:00 ㊟ ●1歳6か月児健診(H26.3生) 13:30~14:30 保健
22 木	
23 金	●ベビーレッスン 13:00~15:00 保健
24 土	
25 日	当番医 石川整形外科医院 ☎45・1717 9:00~17:00
26 月	●楽しく健康教室 13:30~15:30 ㊟ ●健康相談 9:00~11:00 ㊟
27 火	●行政相談 10:00~12:00 ㊟ ●保育所子育て電話相談 10:00~16:00 各保育所
28 水	●心配ごと相談・ところの相談(要予約) 13:00~17:00 ㊟ ●法律相談(要予約) 13:30~16:30 ㊟
29 木	●年金出張相談(要予約) 10:00~15:00 ㊟
30 金	
31 土	

11月

1 日	当番医 岩谷内科 ☎45・2888 9:00~17:00
2 月	●ところのケア相談(要予約) 14:00~15:00 健康
3 火	当番医 イオン診療所 ☎46・4666 9:00~17:00 ●農地相談 10:00~11:30 ㊟ ●心配ごと相談・ところの相談(要予約) 13:00~17:00 ㊟ ●3歳児健診(H24.5生) 13:30~14:30 保健
4 水	
5 木	
6 金	●健康相談 9:00~11:00 ㊟
7 土	
8 日	当番医 中村内科医院 ☎46・0012 9:00~17:00
9 月	●人権相談 10:00~12:00 ㊟
10 火	●保育所子育て電話相談 10:00~16:00 各保育所
11 水	●心配ごと相談 13:00~17:00 ㊟ ●2歳児歯科健診(H25.3生、H25.4生) 13:30~14:30 保健 ●法律相談(要予約) 13:30~16:30 ㊟
12 木	●子育て相談(子育て学習センター) 13:30~16:00 ㊟
13 金	●栄養相談(要予約) 9:30~11:30 健康
14 土	●行政書士・司法書士・土地家屋調査士 無料相談 ㊟ 10:00~12:00 ㊟ ●市民対話課 ☎43・6818
15 日	当番医 秋山成長クリニック ☎46・4115 9:00~17:00
16 月	
17 火	●保育所子育て電話相談 10:00~16:00 各保育所 ●エイズ・肝炎相談(前日までに要予約) 13:20~ 健康 ●楽しく健康教室 13:30~15:30 ㊟

問い合わせ先

市役所(代表) ☎43・3201	市民会館 ☎43・7450
総合福祉会館 ☎42・1397	地域活動支援センター ☎48・1615
保健センター ☎43・9855	健康・赤穂健康福祉事務所 ☎43・2321
保育所子育て 赤穂 ☎42・3368 塩屋 ☎42・0323 尾崎 ☎42・2297	
電話相談 御崎 ☎42・3338 坂越 ☎48・8458 有年 ☎49・2297	
子育て相談(子育て学習センター)	☎45・3290
青少年育成相談 青少年育成センター(随時)	☎43・7831
	フリーダイヤル 0120・783・115
消費生活センター(市民対話課内)(随時) ☎43・7067(相談専用)	
女性問題電話相談 女性交流センター(火~金 13:00~16:00祝日除く)	☎43・7800
市民生活無料法律相談 市民対話課 予約 ☎43・6818	
心配ごと相談 社会福祉協議会 予約 ☎42・1397	
犬・ねこの引取り問い合わせ 動物愛護センター-龍野支所 ☎0791・63・5146	

人口の動き(8月) 住民基本台帳登録者人口

世帯数	20,402戸 (+ 22)
人口	49,723人 (- 5)
男	24,044人 (± 0)
女	25,679人 (- 5)
()内は前月比	
◎8月中の異動	
出生	31人 (- 3) 転出 80人 (- 11)
死亡	41人 (- 5) その他埋 0人 (- 0)
転入	86人 (+ 1) その他減 1人 (± 0)
()内は前月比	

交通事故発生状況

区分	8月	平成27年累計
発生件数	129 (+ 9)	902 (- 22)
人身	15 (- 1)	131 (- 4)
物損	114 (+ 10)	771 (- 18)
死者	0 (± 0)	0 (- 1)
重傷	2 (± 0)	12 (+ 1)
軽傷	14 (- 3)	137 (- 12)

()内は前年比

火災・救急状況

区分	8月	平成27年累計
火災	0 (± 0)	10 (± 0)
救急	172 (+ 28)	1,269 (+ 127)

()内は前年比

火災発生時での問い合わせ ☎43・6899 まで



吉良の塩田(昭和初期) 塩田区画ごとに塩焼小屋が建ち並んでいました。

吉良の塩田 忠臣蔵塩田説をめぐって

松 の廊下刃傷事件の原因を赤穂と吉良との塩田にまつわる確執に求める説があります。吉良側が入浜式塩田の先進地であった赤穂に塩の製法について教えを請いますが断られました。これに立腹した吉良上野介義央は、勅使饗応役を拜命していた浅野長矩に対し、儀式典礼を司る高家の立場を利用して故意に恥をかかせたことにより、刃傷事件に至ったとする説です。

この説の初出は戦後で、NHK大河ドラマ『峠の群像』(堺屋太一原作)の放映などを通じて広く一般に認知されるようになったようです。吉良家が元禄時代に干拓を行った富好新田に塩田が築かれたとの伝承があります。しかし、富好新田の海側には引き続き白浜新田の干拓が行われ、塩田は白浜に移るため、富好新田での塩田の実態はよくわかっていません。

江戸時代、三河では大名・旗本領が複雑に入り組んでおり、富好新田と川を隔てた「本浜」と呼ばれる古からの塩田は他藩領でした。塩田の開発は、領主の主導という

より地元の地主らによってすすめられたようです。吉良家は4000石の旗本です。江戸詰めで大名のように領地で藩政を執ることはありません。領地の支配は陣屋代官が担っており、赤穂のように藩が塩田開発を奨励したとは考えにくい状況です。また、塩の販路で競合したとの説もあります。赤穂塩が廻船によって江戸など、各地に流通したのに対し、吉良の塩は地元三河での消費が中心で信州伊那谷方面に流通した程度です。この説も成り立つとは思えません。

吉良の塩田 赤穂と吉良は地形が似ているとよくいわれます。吉良には東に吉良温泉のある宮崎の丘陵が位置し(赤穂では御崎の丘陵)、西に開けた平野の海岸線に塩田が営まれてきました。

江戸時代、全国の塩の約8割が瀬戸内地方で生産されていたとされますが、瀬戸内より東では吉良を中心とする三河湾がもっとも大規模に塩づくりが行われた地域でした。遠浅の海岸を利用した干拓地に入浜式塩田が築かれ、吉良の



吉良の流下式塩田(昭和43年) 瀬戸内地方以外では唯一の流下式塩田。90haの塩田で最大年間20,000tの塩を生産しました。

塩は地名から「饗庭塩」の名で流通し、岡崎の八丁味噌にも使われていた。吉良の塩田は個人経営が基本でした。1軒が1~1.5反(約千~千五百平方メートル)の塩田1区画と塩焼小屋を所有し、家族で製塩作業に従事しました。瀬戸内地方と比べると面積当たりの生産量では劣っていましたが、塩づくりは農業と兼業で、明治以降は養蚕や海苔養殖を行う者も多く、製塩を行う家は経済的に恵まれていました。

(西尾市教育委員会学芸員 三田敦司)

吉良町は平成24年4月1日に西尾市と合併しました。現在、西尾市では来春のオープンを目指して、塩田体験施設の整備を行っています。